



浜っ子

発行 カトリック浜寺教会

高石市羽衣 2-2-27

TEL072-261-1563

FAX072-261-1594

2018年2月号 (2018.1.28 発行)



喜びを選んでみましょう！

Let's choose to be joyful!

ガル アルジャンタ 神学生

ヘンリ・ナウエン(1932-1996)はオランダに生まれ、カトリック教会の司祭でした。彼の著作を読んでいるうちに、私は彼が“喜びに”対して興味深い考え方を持っていたことを知りました。彼は喜びというものが、悲しみがそうであるように伝染していくものだと思っていました。彼には、自分の喜びを他人と分かち合い、周りにもその喜びを放ち伝える友達がいました。それは彼の人生が楽だったからというのではなく、苦難のさなかにも習慣として神さまの存在を意識するように努めていたからなのです。どこに行くにしても、誰に会うとしても、彼はそこに美しいものを見出したり、耳にしたり、何かに感謝することができるのでした。彼は現実主義者ですが、その深い信仰によって、絶望よりも希望が、不信よりも真の信仰が、恐怖よりも愛が、本当であることを知っていました。この霊的現実主義が彼をそのような喜びにあふれる人にさせました。

Henri Nouwen (1932-1996) was born in Holland and was a Catholic priest. Based on my reading on some of his literatures, I came to know that he has an interesting perspective with regards to joy. He believes that joy is contagious just like sorrow is. Some years back, Nouwen had a friend who liked to share and radiate joy that he had. It was not because his life was easy but he just habitually tried to be aware of God's presence in the midst of all human sufferings. Wherever he went, whomever he met, he was able to hear and see something beautiful, something for which to be grateful. He was a realist, but his deep faith allowed him to know that hope is more real than despair, faith more real than distrust, and love more real than fear. It was this spiritual realism that made him such a joyful man.

ナウエンはある時その友達に会い、国家間の紛争、子供たちの飢え、政治の腐敗、人々の欺瞞、というような人類の究極の問題に話題を仕向けました。すると驚いたことに彼はナウエンの話題には返答せずに彼を見て、言ったものです。「今朝、通りを歩きながら 2 人の子供がパンを分け合っているのを見ましたよ。それから一人の少年が道を横切る老婦人を助けると、彼女は笑顔でお礼を言っていました。このような小さな愛のある振る舞いは、常に私たちに、生きるための新たな勇気を与えてくれます。」

There was a time when Nouwen had a chance to meet that friend of him and started drawing his attention to conflicts happening between nations, the starving among children, the corruption in politics, and the deceit among people, thus trying to impress his friend the ultimate brokenness of the human race. To Nouwen's surprise, instead of responding his topics, his friend simply looked at him and said, "This morning, I saw two children sharing bread with each other while walking down the street. Then, I saw a young boy helping an old lady to cross a street. In return, the old lady gave him a big smile and said 'Thank you'. You know, this kind of simple and loving behavior can always give us a new courage to live our life."



ナウエンはまた喜びが幸福と同じではないと信じています。私たちは多くのことに不満を感じるがありますが、神さまの愛を知っている私たちには、喜びがそこにも存在します。悲しいときには喜びことは困難であると考えがちですが、神を中心に抱く人の人生では、悲しみと喜びが共存するということがあり得ます。

ナウエンは敢然と言いました。「私の悲しみは私が私の喜びを見つけた場所にあった」と。

Nouwen also believes that joy is not the same as happiness. We can be unhappy about many things, but joy can still be there because it comes from the knowledge of God's love for us. We are inclined to think that when we are sad we cannot be glad, but in the life of a God-centered person, sorrow and joy can exist together. Nouwen even dared to say: "My grief was the place where I found my joy."

しかしながら、霊的生活においては、何も自動的に起こりません。喜びは単に私たちに起こるものではありません。ナウエンの友達がやっていたように、私達も習慣的に喜びを選び、毎日それを選び続けるように訓練する必要があります。その選択は私たちが神に属し、神の中に私たちの避難所と安全を見出し、そして何ものも、病気、失敗、精神的ストレス、抑圧、戦争や死さえも、神の存在やその喜びから私達を奪うことができないという知識に基づいたものです。

However, nothing happens automatically in the spiritual life. Joy does not simply happen to us. Just like Nouwen's friend had been doing, we also need to train ourselves to habitually choose joy and keep choosing it every day. It is a choice based on knowledge that we belong to God and have found in God our refuge and our safety and that nothing -- sickness, failure, emotional distress, oppression, war or even death-can take God and God's joy from us.

あらためて、明けましておめでとうございます。今年は私達にとって、よりいっそう喜びに満ちた年になるようにと祈りましょう。神様は私達を祝福します。

Once again, Happy New Year for all of us. Let us pray that may this year become a more and more joyful year for all of us. God bless us.

3月11日(日) 10:45～チャリティーバザー・・・

おでん・豚汁・焼きそば・フランクフルト・コーヒー他

提供品を受付いたします。準備や当日の販売など多くの方のご協力をお願いいたします。

第10回 クリスマスコンサート (2017,12,23)



主の平和 2017年12月23日、[第10回クリスマスコンサート]を無事開催することができました。心より感謝申し上げます。幸いにお天気にも恵まれ、私たちカトリック信者よりも遥かに沢山の近隣の方々にご来場いただきました。10年前、「地域の方々と共に歩む開かれた教会」でありたいとの思いから始めたこのコンサート。今年も皆様と一緒に楽しい時間を過ごすことができましたこと、大変嬉しく思っております。

今年も宮崎剛氏の素晴らしいピアノ演奏と楽しい演出に元気をいただきました！先生、ありがとうございます！また合唱団CETの皆様は、ゴスペルから重厚な合唱曲、そして童謡と、とても幅広い音楽で私達を魅了されました！そして、村田神父様からの「本当のクリスマス」についてのお話は、主の御降誕を迎える前の心の準備となりました。良い音楽に浸って豊かな心になった後、皆で声を合わせて大きな声で歌った時間は、会場が一つになったような、そんな一体感をも感じることができた、とても素晴らしいコンサートであったと思います。

合わせて行いましたクリスマス募金は、¥40,048でした。翌日のミサ時の募金、更に教会青少年部の協力を得て、計¥75,000となりました。聖ザベリオ宣教会マンニ神父様を通して、「貧しい国の子どもたちを支援するプロジェクトチーム」の活動団体に送金させていただきました。ご協力ありがとうございました。

小林美術館様には、今回も、快く休憩時にお手洗いを貸してくださり、助けて頂きました。ありがとうございました。お忙しい中、手作りケーキ・お茶菓子など差し入れして下さいました。準備から後片付けまでお手伝い下さった方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。ご意見・ご感想などございましたら、是非お聞かせくださいませ

Xmas コンサート実行委員会



成人式おめでとうございます

1月14日、ミサの中で成人になられたお祝いの祈りが捧げられました。これからの人生を、いつも神様がそばにいて下さることを忘れずに・・又、共同体の一員としても一緒に頑張りましょうね。よろしくお祈りします。

ミサ後は、新年会を兼ねて、楽しいひと時を過ごしました。庭で採れたオリーブも美味しく並びました。お料理・お菓子など、持ち寄って頂いた方、お手伝いなど、ご協力ありがとうございました。



いずみブロック四旬節黙想会 2月25日(日) 浜寺教会

講師：Sr.川野恩美

「主と共に生きる喜び」 ～あなたはどこに喜びを求めていますか？～

主日のミサ後 11時30分～開会の挨拶、始めの祈り。Sr.川野 導きのことば(Ⅰ)、
12時30分昼食、
13時15分～導きのことば(Ⅱ)、
14時15分～黙想、15時～分かち合い、16時閉会

2月の主日ミサ担当一覧	浜寺 9:30	和泉 9:30	岸和田 9:30
4日 年間第5主日	ベスコ	カルロス (評議会) インターナショナルミサ	村田 インターナショナルミサ
11日 年間第16主日	村田 (評議会) 11時ポルトガル語 (マルコ)	ベスコ	カルロス (評議会)
14日 灰の水曜日	19:00 ベスコ	19:30 村田	19:00 カルロス
18日 四旬節第1主日	カルロス	村田 14:00 カロス (英語)	ベスコ
25日 四旬節第2主日	ベスコ	カルロス	村田 15:00 村田 (英語)

◇毎週土曜日 19:30 主日前晩のミサ(和泉)

◇平日のミサ 浜寺：火曜日 (毎週) …9:00 木曜日 (第2, 4) …9:00 金曜日 (毎月第1) …9:30
和泉：月曜日 (毎週) …19:00 金曜日 (毎月第1) …9:30
岸和田：木曜日 (毎週) …9:00

◇ポルトガル語ミサ 毎月第2日曜日…11:00 (浜寺)

◇英語ミサ 毎月第3日曜日…14:00 (和泉)、第4日曜日…15:00 (岸和田)

◇インターナショナルミサ 毎月第1日曜日…9:30 (和泉) (岸和田)

2月の各種集いの案内

- ◇ 聖書の分かち合い (Fr.村田) ……第1、3金曜日 19:00 : 浜寺教会
- ◇ 聖書の分かち合い (Fr.カルロス) ……第2、4木曜日ミサ後 : 浜寺教会
- ◇ キリスト教講座 (Fr.カルロス) ……第1、3火曜日 13:00 : 岸和田教会
- ◇ キリスト教講座 (Fr.カルロス) ……第1、3土曜日 13:00 : 岸和田教会
- ◇ 「聖書100週間で読む」集い (Sr.ルイザ) ……毎週土曜日 14:30 : 和泉教会
- ◇ キリスト教の勉強会 (Fr.カルロス) ……第2、4金曜日 19:30 : 和泉教会

2月の奉仕者当番表

典礼奉仕について都合の悪い方は必ず典礼委員までご連絡ください。

	先唱	子供侍者	第一朗読	第二朗読	名札受付 共同祈願	掃除当番	お茶当番
	聖体奉仕						
4日					宣教	泉大津	泉大津①
11日					青少年		堺③
14日 灰の水曜							
18日					広報	堺	高石
25日 黙想会					評議会		泉大津②